



12月定例会

- 子どもたちに安全で快適に学べる環境を ▶2
- 「多可町一日ひと褒め条例」制定 ▶4
- ここが聞きたい 12人が一般質問 ▶6

手話かるたで手話をおぼえよう



冬休み 子ども手話教室

遊びながら自然に手話を学んでほしい、と始まった子ども手話教室。2回目の今回は、平成31年1月4日、アスパルで開催されました。

「多可町オリジナル手話かるた」で、11人の子どもたちが、楽しく頭と体を使って学びました。

福祉課 手話通訳士 山田美香子さん

手話を使う人は決して特別ではなく、表現の方法が違うだけです。子どもの頃から手話に触れて、隔たりなく付き合える人に育ってほしいです。この教室の受講者が、クラスや家庭に戻って、手話リーダーになってくれるといいなと思います。

初参加の小学2年生

かるたを使ったのが楽しかったです。

意欲を示す小学3年生

これからも手話を勉強して、耳が不自由な人ともっとしゃべりたいです。

参加2回目の小学6年生

私の双子の妹は、時々声が出なくなります。そんな時手話でしゃべれたらいいなと思います。

耳や発音が不自由な人と進んで会話をしたいという声をお聞きして、胸が熱くなりました。

こういう思いが広がることで思いやり社会が実現するのでしょうか。

私も英語を学ぶように手話を学んで、もっと積極的に、たくさんの人とコミュニケーションを深めたいと思います。

(酒井)



編集後記

私たちの周りにはモノが溢れていて、好きなものを好きなだけ食べられる豊かな時代になっています。その反面、偏った嗜好により、食生活のバランスを崩しやすくなっているのも現実です。

「医食同源」について、世間ではいろいろな解釈をされていますが、要は食による「予防医学」だと私は解釈をしています。

寒い夜、アツアツの大根の煮物は身も心も温まる冬の定番ですが、大根の起源は大変古く、縄文期にはすでに伝来していただろうといわれています。

冬野菜の代表となっていて大根には多くの効用があるといわれていますが、効用も学びながら冬野菜を楽しんではいかがでしょうか。

(大山)

安全で快適に 学べる環境を

すべての小・中学校に エアコンの設置

歳出 12月補正予算

| 款 | 12月 | 補正後の額 |
|--------|----------|------------|
| 議会費 | 35万円 | 1億 29万円 |
| 総務費 | 1704万円 | 29億4482万円 |
| 民生費 | 4749万円 | 31億7124万円 |
| 衛生費 | 208円 | 8億9037万円 |
| 農林水産業費 | △3931万円 | 8億4579万円 |
| 商工費 | 86万円 | 2億3980万円 |
| 土木費 | 15万円 | 14億 54万円 |
| 消防費 | 254万円 | 9億9867万円 |
| 教育費 | 4億2400万円 | 15億3417万円 |
| 諸支出金 | 1万円 | 1億 854万円 |
| 災害復旧費 | 12万円 | 1億3992万円 |
| 歳出合計 | 4億5533万円 | 144億5074万円 |
| 特別会計 | 6188万円 | 57億8129万円 |
| 公営企業会計 | 52万円 | 32億7192万円 |

*予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。



長い間親しまれた 商工会館

**多可町商工会移転
本庁舎周辺駐車場整備**
2310万円

商工会がコミュニティプラザ（旧中央公民館）に移転するに伴い、建物を解体撤去した跡地を購入し、駐車場として整備します。

**照明設備一新
工事請負契約**
ヘルディーホール
照明設備改修工事
6966万円

老朽化した舞台照明を改修し、多様なニーズに対応できるようにします。工期は平成31年3月の1カ月間です。

**第88回多可町議会
臨時会**
平成30年11月16日に臨時会を開催しました。

**小・中学校に
熱中症対策**
4億3800万円

町内の小・中学校8校の教室には、一部の特別教室を除いてエアコンがありませんでしたが、児童や生徒の熱中症対策として、国の補正予算でエアコン設置の臨時特別交付金が予算化されたため、町は82の普通教室、12の特別教室へ設置を決めました。来年夏までの整備を目指します。



多くの人の願い

夏の猛暑の中、議会では一般質問などを含め、小・中学校へのエアコンの設置を再三要望していました。

教育委員会からは予算の関係もあり、31年度に中学校、32年度に小学校に設置をするという返答でした。

しかし、エアコン設置の臨時特別交付金が計上

平成30年12月6日から12月26日までの21日間の日程で、第89回多可町議会定例会を開催しました。

定例会では小中学校のエアコン設置を含む30年度補正予算のほか、議員発議による「多可町一日ひと褒め条例」の制定や、防災・減災のためのインフラ整備の財源確保の意見書、多可町立公民館条例の廃止など27案件が提案され、慎重に審査した結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。

第89回多可町議会定例会 賛否の公表（全員賛成の議案は除く）

| 番号 | 案件名 | 清水俊博 | 吉田政義 | 門脇保文 | 廣畑幸子 | 山口邦政 | 門脇教蔵 | 大山由郎 | 市位裕文 | 日原茂樹 | 加門寛治 | 橋尾哲夫 | 笹倉政芳 | 藤本一昭 | 酒井洋子 |
|--------|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 議案第73号 | 北播磨清掃事務組合規約の変更 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第81号 | 多可町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第82号 | 多可町職員の給与に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第83号 | 平成30年度多可町一般会計補正予算(第7号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第84号 | 平成30年度多可町国民健康保険特別会計補正予算(第4号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第85号 | 平成30年度多可町介護保険特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第86号 | 平成30年度多可町学校給食事業特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第87号 | 平成30年度多可町診療所事業特別会計補正予算(第4号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第88号 | 平成30年度多可町水道事業特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第89号 | 平成30年度多可町下水道事業特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○印は賛成、×印は反対。賛否同数の場合は、清水議長が裁決します。

また、多くの自治体でエアコン設置が始まると、エアコンが足りなくなるのではないですか。

答 できる限り早く実施設計をし、入札をして夏に間に合うようにします。

議会の対応
議会では、12月21日に予算決算特別委員会

また、多くの自治体でエアコン設置が始まると、エアコンが足りなくなるのではないですか。

答 できる限り早く実施設計をし、入札をして夏に間に合うようにします。



夏の教室は暑い

エアコン設置を含む一般会計補正予算の表決をし、26日の定例会最終日に本会議で表決をする予定でした。

しかし、26日の表決になると公告は年明けとなるため、年内に公告、年明けの早い時期に実施設計の入札をするため予定を大幅に変更しました。

予算決算特別委員会の表決を12月13日に、本会議の表決を19日にして一刻も早く、準備にとりかかれるよう柔軟な対応をしました。

「多可町一日ひと褒め条例」制定

議員提案

多可町議会は多可町商工会未来創造実践部との意見交換会を開催しました。その中で「人と町を元気に！」を目標とする条例の策定が提案されました。

議論を重ねる中で、人は褒められると嬉しさを感ずるとともに、より向上心を持つとの意見から、今回の「一日ひと褒め条例」を提案することになりました。

人と人が言葉を交わすことは、心と心を通わすことです。褒める言葉や感謝の言葉は、人々により一層温かな心を養い、「ありがとう」があふれるまちは、元気な社

会づくり・活力のあるまちづくりにつながることを考え、議員発議で条例を提案し、制定しました。

多可町一日ひと褒め条例

情報通信技術の発達により生活は便利になった。特に情報伝達においては、SNSの普及により瞬時に情報が世界を駆け巡る時代である。しかしながら、コミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するはずの技術が、匿名のまま他人を批判、傷つけることができる時代にもなった。

人と人が言葉を交わすことは、心と心を通わすことでもある。褒める言葉や感謝の言葉は、人々により一層寛容な心を養い、元気な社会づくりに大きく寄与できる。

よって、敬老の日発祥のまち多可町は、住民、事業所、町が協働して元気で明るく心豊かで「ありがとう」があふれるまちづくりを目指し、ここに一日ひと褒め条例（以下「条例」という。）を制定する。

（目的）
第1条 この条例は、一日に一度は人を褒めるまたは感謝の気持ちを伝えることにより、互いの心を尊重し、明るく前向きな活力ある社会を築くことを目的とする。

（住民等の役割）
第2条 住民、町内事業所に勤務する者及び町内の学校に通う児童生徒（以下「住民等」という。）は、他の人の良い言動や成果を見つけ出し、感謝の気持ちを素直に伝えるとともに、積極的に称賛することに努めるものとする。

（事業所の役割）
第3条 事業所は、経営者及び従業員が積極的に互いにコミュニケーションを図り、風通しの良い職場をつくるとともに、職場環境の改善につながる言動等に対し、称賛することに努めるものとする。

（町の役割）
第4条 町は、目的を達成するため、褒める言葉、感謝の気持ちを伝える住民等及び事業所の取り組みを支援するとともに、意識の啓発、啓蒙に努めるものとする。

災害防止のための財源確保を

議員発議で

地方の声を届ける

防災・減災に資するインフラ整備促進のための財源確保等具体的な対策を求める意見書

気候激変に伴う大災害が増える中、災害防止のための社会基盤施設の整備に重点を置き、人々の安全安心の確保のためには、幅広い防災対策が必要であり、財源確保は必須です。そこで財源確保を国に

訴え地方の声を届けるために、意見書を提出しました。

賛成討論

予算確保は必要不可欠

笹倉 政芳
大規模地震や豪雨、台風など多発する災害に対する予算が必要です。防災・減災の対策をより一層強力に進めるため、社会基盤施設の機能維持など具体的な予算措置を国に求めるものです。

職員の給与アップ

平成30年8月の人事院勧告および国家公務員の一般職の給与に関する法律の改正などに準じ、一般職の職員の給料、勤勉手当を改正します。

反対討論

子育てに使い

門脇 保文
多可町のために日夜努力を惜しまず、成果を出しておられる職員が多数いますが、この財政難の中、総額600万円引き上げるなら「子育てするなら多可町」に使用すべきです。

賛成討論

人事院勧告に伴う改正です

吉田 政義
人事院では、国家公務員と民間の給与や特別給を調査したうえで、その格差を埋めることを基本的に勧告をしています。俸給表の水準と特別給をひき上げ、民間を参考に特別給は勤勉手当に配分するものです。

特別職の

ボーナスアップ

一般職の勤勉手当などの改正に準じ、特別職の職員の期末手当も改正します。

反対討論

道理に反する

門脇 保文
財政難の中、町長はじめ特別職の報酬の引き上げは道理に反します。

中央公民館が

中コミュニティプラザに

公民館条例を廃止・コミュニティプラザ条例の一部を改正

多可町立公民館条例を廃止します。廃止に伴い、中コミュニティプラザになります。

問 公民館がコミュニティプラザになることで、使用方法などは変わりますか。

答 名称は変わりますが、



中コミュニティプラザに変わります

貸館業務は今までどおりです。申し込みの仕方も今までと全く変わりません。

個人情報を守れ

多可町議会傍聴規則の一部を改正

議会の傍聴は、今まで一覧表様式の受付簿でした。

今回、個人情報を守るために、傍聴人一人ひとりが記載する、傍聴人受付票に変更します。

多可町と西脇市で新たな取り組みを

北播磨清掃事務組合の規約の変更

「北播磨清掃事務組合」から加東市が脱退するので、組合議員を西脇市4人から5人に、多可町は現行の3人となります。

問 なぜ加東市が減る分を議員数減で7人としなのですか。

答 西脇多可行政事務組合も、西脇市と多可町の1市1町の構成で、組合議員は西脇市が5人、多可町が3人です。そのため、同じ人数が良いと考えます。

旧八千代給食センター

建物を無償譲渡

平成25年に用途廃止したセンターを、活用したいと申し出があり、土地は有償で、建物は無償で譲渡します。



大山由郎議員

問 災害弱者の命を守れ
答 命を守ることを最優先とする

大山 7月豪雨（西日本豪雨）で大きな被害を受けた多くの市町村が「個別支援計画」を策定していませんでした。自力避難が困難な要支援者の名簿を提供しても、自主防災組織などの計画策定作業を支える人手が足りずに着手できないケースがありました。支援者確保が難航するなど、避難が困難な「災害弱者」の実態が浮き彫りになりました。

政府は、平成25年災害対策基本法を改正し、災害発生時に本人の同意を得ることなく、関係者に「避難行動要支援者名簿」を提供することを可能としました。さらに翌年には、全国の市町村に「要支援者名簿」の作成を義務付けました。

要支援者への避難支援は、避難支援者を定めた具体的な避難支援計画を作成することが必要です。そして「個別支援計画」



日頃の訓練が命を救います

の策定は「災害弱者」にとって、命を守る重要な計画です。町全体で取り組み策定を急ぐべきです。

町長 要支援者の避難支援誘導を素早く安全に実施するためには「個別支援計画」の作成を急がねばなりません。

また災害発生時の初期期には自主防災組織、消防団、近隣住民の支援が不可欠です。

多可町では、各集落に自主防災組織の行動計画を作成してもらう中で、「災害時要支援者名簿」の作成を関係者に依頼し「個別支援計画」の作成は自主防災組織支援事業の補助対象としました。

今後とも町民の命を守ることを最優先とし、他市町の事例を参考にしながら、多可町の避難支援計画の見直しを進めます。また関係機関との連携を強め、要支援者対策に取り組みます。

ここが聞きたい!!

議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに町長と教育長に方針を問います。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。熱気あふれる発言の数々は本会議場でお聞きください。傍聴をお待ちしています。

全文は多可町議会ホームページを検索



| 質問議員 | 質問要旨 | 掲載ページ |
|------|---|-------|
| 大山由郎 | 災害弱者の命を守れ | 7 |
| 山口邦政 | 経費削減分を子育てに 空調設備導入は地中熱利用を | 8 |
| 廣畑幸子 | 旧中町幼稚園にプラザ機能を バリアフリーは万全か | 9 |
| 藤本一昭 | 予防接種の体制の拡充を 観光資源の活用と観光インフラの整備が必要である（未掲載） 市街地の農地転用を進め町の活性化を（未掲載） | 10 |
| 門脇保文 | 多可町南玄関口の道路整備を 子どもたちの骨密度を測定せよ 太陽光発電 町の対応は | 11 |
| 門脇教蔵 | 子育て施策に予算投入を 公共用地の有効利用について（未掲載） | 12 |
| 加門寛治 | 保育料の見直しは | 13 |
| 笹倉政芳 | 災害復旧の円滑な工事实施を 工事設計書の情報公開は | 14 |
| 酒井洋子 | 住民の暮らしを守るには 子どもの国保税負担を応援せよ | 15 |
| 市位裕文 | 地域おこし協力隊を増やせ 多可老連に部屋を貸与せよ | 16 |
| 橋尾哲夫 | 各老人クラブへの加入勧奨を 各老人クラブの補助金復活を | 17 |
| 日原茂樹 | 議会にタブレットの導入を 道路橋梁の維持管理はできるのか | 18 |



山口 邦政 議員

問 経費削減分を子育てに
答 可能な限り充当する

山口 27年度開催の「子ども・子育て会議」で、キッズランド民営化が検討されました。その中で、運営経費は、27年度当初予算の数字で試算すると、一般財源分2億1200万円が、民営化した場合7400万円になります。民営化により削減される1億3700万円の予算を、子育て支援の充実に充てることとした。財政状況が厳しい中で、他の事業に予算を使わず、

約束どおり子育て支援に充当するべきです。具体的な子育て支援事業が計画できないならば「子育て支援対策基金」として基金積み立ても必要かと考えます。

町長

当時の会議の中でも説明しましたが、実際に削減できる経費は1億3700万円から交付税の減額分を差し引く必要があり、約6千万円〜7千万円ほどです。

財政課長

民営化で生まれる財源は、可能な限り子どもたちのために使います。どの事業に充てるかは単年度ごとに検討します。

問 空調設備導入は
地中熱利用を

山口 地中熱利用の空調設備の技術は年々進化

しており、多くの導入事例が出てきています。小・中学校への空調設備導入では、花粉症やインフルエンザ予防などの健康対策、子どもたちの環境学習、CO2排出削減に繋がる地球環境対策、そして電力削減の面からも有効な地中熱利用の調査研究をすべきです。

答 今後の施設整備での
検討課題

教育長

今回の整備でも地中熱利用を検討しましたが、初期費用が高額となる点やできるだけ早期に設置という計画の中で、工期の面で時間がかかることから断念しました。

副町長

新庁舎にも一部地中熱を利用して、今後の施設整備でも検討課題として取り組めます。

問 バリアフリーは
万全か

廣畑 ふれあいまつりで、高齢者や車いすの人たちに分かりやすい駐車スペースや、トイレの表示はありましたか。

実行委員会は、健常者だけだと思います。障がい者の意見も聞くべきではありませんか。

答 改善点は
たくさんある

町長

障がい者用の駐車スペースは、会場内の一角や体育館付近に設置し、コーンを置いて表示していました。また、トイレの表示は誘導看板を設置していましたが、しかし、それだけでは不十分でした。

より良いイベントにするため、いろいろな団体の意見を聞き改善していきます。



大きく育て 子どもたち — キッズランドかみ —

廣畑 子育ての拠点として「子育てふれあいセンター」を旧中町幼稚園に移転したいとの説明がありました。

旧中町幼稚園は、閉園後も子育てふれあいセンター事業や就学前の子どもたちを含め、たくさんの親子の遊び場としても活用されています。

園庭は広く、遊具もたくさんあり、部屋も遊戯室のほか6部屋あります。子育ての拠点としてすべてを使うのではなく、プラザ機能を併せ持つ施設として考えられませんか。平屋建ての施設です。高齢者にも使いやすく、子どもの声が聞こえる施設は、素晴らしいです。

また旧八千代北小学校は、図書館の子ども部門に特化した分室はどうでしょう。地域のコミュニティとして役割を果たせると思います。

町長

平成31年4月から旧中町幼稚園は、子育てふれあいセンターの拠点としての活用を計画しています。また適応教室、5歳児交流会などを考えています。現時点では一般の人の利用は考えていません。旧八千代北小学校の利活用は、区長をはじめと

教育長

子育て施設で、大人はダメということではありません。十分検討してより効果的に活用します。



カッコいい忍者がずらり
子育てふれあいセンター事業の忍者ごっこ遊び



藤本 一 昭 議員

問 予防接種の体制の拡充を
答 効果を見極めて助成検討

藤本 近年、特に心配しているのが風疹です。風疹の予防接種は戦後の厚生労働省の施策の変更に伴い、年代、性別によって違いがあります。妊婦が風疹に感染すると、おなかの赤ちゃんが難聴や心臓病、白内障などの障害を持って生まれてくる可能性があります。抗体がない成年男性のうち、39歳から56歳の男性は一回も予防接種を受けていません。国は31年度から対象者に風疹の抗体検査、予防接種の原則無料化を実施すると発表しています。町は31年度にこの対象者に対して予防接種事業を計画的に実施するべきです。

町長 町では、現在49歳以下の男女妊婦の同居家族を対象に風疹予防接種の助成をしています。39歳から56歳までの人に対しての対応は、国の動向を見ていきます。**藤本** 肺炎球菌予防接種は、31年度から改正されます。今後の安定した接種体制が必要です。**町長** 後期高齢者の肺炎球菌の予防接種は、31年度から特例措置が撤廃され、原則65歳を迎える人が定期予防接種の対象となります。**藤本** インフルエンザは、生後6カ月から中学3年生を対象として、予防接種1回につき千円の助成をしています。この助成は、来年度から全額助成をするべきです。**町長** 北播磨で初めて、多可町が小児インフルエンザの予防接種に対して助成をしました。大変好評をいただいています。今後は、アンケート調査を実施し、効果などを評価して助成の拡大を検討します。



門脇 保 文 議員

問 多可町南玄関口の道路整備を
答 優先順位別に事業を進める

門脇 「防災・減災に資するインフラ整備促進のための財源確保等具体的な対策を求める意見書」を全員賛成で可決しました。道路は地震により家屋の倒壊や火災が発生すると通行できません。多可町南玄関口として、八千代から西脇市に抜けるトンネルと三室バイパスの道路整備事業を、一日も早く推し進めるべきです。**技監** 県では、30年度社会基盤整備プログラムを見直しており、三室バイパスは、31年度からの5年の間で整備着手する区間となるように要望しています。西脇市へのトンネル構想は、長期的な課題として考えています。**問** 子どもたちの骨密度を測定せよ



骨密度測定中
— 松井庄診療所 —

門脇 「防災・減災に資するインフラ整備促進のための財源確保等具体的な対策を求める意見書」を全員賛成で可決しました。道路は地震により家屋の倒壊や火災が発生すると通行できません。多可町南玄関口として、八千代から西脇市に抜けるトンネルと三室バイパスの道路整備事業を、一日も早く推し進めるべきです。子どもたちの現状を把握するため、骨密度を測定すべきです。**教育長** 多可町では、国県の基準などに従い牛乳を成長期の児童・生徒に必要な栄養素を含んでいる食品として今後提供していきます。三条市は、米どころということで「給食に牛乳は合わないのではないかと」の見解で、給食には牛乳を出していません。しかし、ドリンクタイムという形で牛乳を提供しています。**答** 測定が必要かを検討する

問 太陽光発電町の対応は
門脇 中区で大型の太陽光発電施設が設置されようとしています。県条例に違反していませんが、町条例もそれに準ずる内容になっていますが、どう対応するのですか。**町長** 課題のある施設計画には、県条例の考え方を踏襲しながら粘り強く指導または助言をしていきます。県の指導に従わない場合は、条例に基づき勧告、また公表になります。県と連携を保ちながら、粛々と進めます。



門脇教蔵議員

問 子育て施策に予算投入を
答 対策を盛り込んで計画策定

門脇 人口減少は急速に進み、この10年間で約3千人減少しています。この減少傾向は、依然としてブレーキがかかる気配がありません。このペースでいくと、2025年には2万人を切ると推計され、人口減少の対策は喫緊の課題です。人口減少は、活力衰退の空気を生み出しかねません。町は人口ビジョンと総合戦略の策定について、どのような体制で取り組

んできたのですか。またどのような考え方を持っているのですか。
町長 多可町版総合戦略の策定は、約1年間議論をし、商工会青年部、若手起業家会議など、各方面から提案を受け新規事業として戦略に取り組んでいます。検討した結果、選べるまち・選ばれるまち多可町を目標として、2019年までの計画で総合戦略の推進に取り組んでい

ます。例えば、結婚、出産、子育てに関する事業として、結婚応援、医療体制の充実、こども医療費助成、学童保育、保育料免除、ICT教育の拡充をしています。高齢者の社会参加の促進、介護予防の推進、健康保養地事業、認知症予防、安全安心なまちづくりを進めています。また、多可町ブランドの育成などにも力を入

ています。
門脇 人口減少を抑制する対策をしなかった場合、2060年には、1万人を下回ると推計されています。
町長 町長は就任以来「子育てするなら多可町」と力強く所信を述べています。一施設に多額の予算を投入するのではなく、今こそ力強く所信を述べた施策に、予算を投入すべきではありませんか。人口が減少すれば財政は厳しくなり、地域経済に与える影響も計り知れません。しかし、人口を増やし、住民の所得を増やす施策をすれば、活力と活気みなぎる多可町になるのではないですか。
町長 少子化対策や人口減少対策を盛り込んで、第2次総合戦略の計画を策定していきます。



子育て世代の拠点
— アスパル —



加門寛治議員

問 保育料の見直しは
答 県保育料軽減事業で対応

加門 保育料は、4・5才児無料と子どもが全員保育園や幼稚園にいる場合には、2人目半額3人目無料です。しかし、年の離れた兄弟の場合、「就学前児童の中で第1子、第2子、第3子と数える」という規定があるため、第1子も第2子も第3子も全額負担となることがあります。
町の施策として、第2子は半額、第3子は無料とはできないのでしょうか。

教育長 現在、第2子、第3子は兵庫県保育料軽減事業を実施しています。所得要件はありませんが、一旦保育料を支払った後に、月額5千円を超える保育料に対して助成金を交付する制度です。

国の施策として、2019年10月から3歳児以上の保育料の無償化が計画されています。

加門 猛暑の中、学童保育の杉っ子クラブでは40人以上の子どもが狭い部屋にいました。1人当たり約一畳の広さで、基準は満たしていませんが、学校の教室を使うなど工夫はできないのでしょうか。

教育長 杉っ子会館と杉原谷小学校の2カ所になると、子ども安全管理のため、指導員を増やさなければなりません。常時2カ所は、現在のところは考えていません。

加門 小児インフルエンザ予防接種事業では、1人1回につき千円の助成です。しかし自由診療ですので、1回の予防接種で2500円から5千円ほどかかります。もっと助成額を増やすべきです。

町長 インフルエンザ予防は、3月にアンケートを実施し、学級閉鎖の数なども調査して、財政の許す範囲で検討します。



うまくまわったよ 楽しくこま回し
— キッズランドやちよ —



笹倉 政 芳議員

問 災害復旧の円滑な工事実施を
答 早期復旧に努める

笹倉 災害復旧工事で入札不調が多くなっています。災害復旧は、まさに緊急に取り組むべき工事です。早期復旧が困難になり、安全安心の確保の観点から大きな問題です。

今後、地域の建設業者で対応していくにはどうすれば良いと考えますか。
町長 入札不調になった災害復旧工事は、業者の手持ち工事が比較的少なくなる4月～5月に工事ができるように再度発注を予定しています。現在多可町では、1千



入札不調の災害現場
— 大和 原川 —

問 工事設計書の
情報公開は

笹倉 県では、完了工事は全て公開するようになっていきます。建設工事の設計書の情報公開が、入札の透明性を高めること

とや、建設業者、現場職員のスキルアップに繋がるのであれば多可町も公開すべきです。
町の入札最低制限価格は、県より2段階前のモデルを使用しています。建設業者の維持には、健全な競争、適切な価格で

答 早期実施を
検討する

町長 工事設計書は特殊なため、請求者の限定など、一定の条件を付けることが必要と考えています。

よって、実施に際して、手続きや運用面などを検討した上で、早期の実施を目指します。

技監

町の発注工事は、基本的に町内業者にお願ひすることを考えています。

よって、県発注工事と比べて事務所と現場が近く、現場経費も抑えられる事もあることから、県の1段階前のモデルが妥当と考えています。早期に改定を実施します。



酒井 洋子議員

問 住民の暮らしを守るには
答 協働してまちづくりを推進する

酒井 地域との調和を欠く太陽光発電事業者から、どのように住民の当り前の暮らしを守りますか。

住民や集落が、主体的に自分たちの住環境・自然環境を守ることが、快適に心豊かに誇りを持って暮らせる町の実現につながります。

景観づくりへの意識を高めるような条例があれば、調和を欠く事業者から住民の暮らしを守ることにつながるのではないのでしょうか。

町長

条例制定は、さまざまな事案に対応できる内容にするため、どのようなコンセプトで検討するか研究課題とします。

今後、地域の特性や課題に応じて、誰もが暮らしたい、訪れたいと思える地域をつくらせていくため、住民や事業者、県などと協働してまちづくりを推進します。

問 子どもの国保税
負担を応援せよ

酒井 国民健康保険の保険料負担は、社会保険

などよりも重いのが現状です。進学や就職を控えて、塾やその他でどんどん支出が膨らむ子育て世代にとって、健康でも支

払わなければならない保険料負担は、ますます家計を圧迫します。

0歳から18歳までの被保険者313人の1人当たりの年間保険料は3万4600円で、合計1082万9800円です。「子育てするなら多可町」と宣言しているなら

答 国の動向を見て
対応する

町長

子どもの保険料減免は、現在の状況では町単独で制度設計することは難しいですが、全国的な流れの中で対応したいと考えています。

しかし、町としても何ができるかを検討します。



環境に配慮した太陽光発電を



市位 裕文 議員

問 地域おこし協力隊を増やせ

答 いろいろなネットワークを活用

市位 生活環境常任委員会、島根県邑南町の地域おこし協力隊の活動を視察しました。人口1万人で、高齢化率44%の過疎の町に地域おこし協力隊が延べ人数で60人活動し、このうち18人が定住、内9人は起業しています。現在でも19人が各所で活躍しています。

多可町でも3人が活動しています。平成28年から活動している人は、健康ウォーキング事業で実績を残し、30年度で任期が切れますが、引き続き活動を継続されます。

今後は新たな形での活動となりますが、町はどのような施策を展開して活動を支援するのですか。また、30年度採用の2人が、主に活動している道の駅を訪れましたが、私が考えていた地域おこし協力隊の活動とは違うことをしていました。後日話を聞くと、いろ

いろな業務を経験して特産品の企画開発、営業活動に役立っているとのことでした。

3年の任期終了後は多可町で定住を希望されています。定住に向けての支援策はあるのですか。近隣では神河町7人、丹波市10人、篠山市7人と多くの人が活動されています。多可町はあまりにも少な過ぎます。町の活性化のため、地域おこし協力隊を増やしていくべきです。

今後どのようにして増やしていくのですか。

町長

平成26年より各種分野で毎年数人を募集していますが、応募者が少ないのが現状です。

平成28年の採用者は、クワオルトウォーキング事業に積極的に取り組んでおり、任期終了後も「社団法人多可の森健康協会」で、引き続き活動します。



地域おこし協力隊が開発した和スイーツ「もちつづみ」と「あずき」

今年度採用の2人は、道の駅の活性化に取り組んでいます。今後平日は役場勤務、土日は道の駅での勤務を考えています。2人の能力が十分に発揮できる体制にします。

いろいろなネットワークを活用して地域おこし

は3人の職員が町老連の事務を担当しています。町老連本部の集約化も含め、この変更点も説明し、町老連の意見を聞き検討します。

問 各老人クラブへの加入勧奨を

橋尾 各老人クラブの会員が減少しています。65歳以上の人に、町は年度初めの区長会で老人クラブへの加入勧奨を要請すべきです。前町長は、区長会で加入を要請するとの回答でした。

町全体への加入率は50%です。せめて70〜80%に引き上げるべきです。

答 各団体に対し要請する

町長 会員数が減少し、活動中止の老人クラブもでてきています。集落機能を維持するために増加が必要です。

問 各老人クラブの補助金復活を

橋尾 29年度補正予算で、各老人クラブに高齢者の健康づくり事業として4万5千円の補助金がありました。平成29年11月の町長選挙で、吉田候補に補助金復活を老人クラブ幹部が要望し、復活しますとの話でした。

答 復活は考えていない

町長 補助金は28年度で終了し、29年度は限定的に予算組みました。この補助金は健康いきいき百歳体操などで、元気を広げるために限定的に支給しました。今後の補助金の支給は考えていません。



活発に活動する多可老連

問 多可老連に部屋を貸与せよ

答 意見を聞き検討する



橋尾 哲夫 議員

橋尾 平成29年12月定例会で、町老人クラブ連合会に部屋貸与を一般質問をしました。町長は検討しますとの回答でした。新庁舎が完成し、旧施設の空きがあるなら、新年度から貸与するべきです。

他市の老人クラブ連合会では1人の職員が配置されていますので、部屋貸与にあたり職員も1人配置するべきです。

町長

仮庁舎などは今後の有効活用を検討中です。現在、社会福祉協議会



日原茂樹議員

問 議会にタブレットの導入を
答 議会とともに前向きに進める

日原 新庁舎では無線LANの環境が整い、タブレット端末の有効活用が可能です。

議会へのタブレット端末導入は、さまざまなメリットをもたらします。その最大のもは、過去の膨大な資料のデータペーパース化と、その活用手段の拡大です。

既に100以上の地方議会がタブレットを導入し、ペーパーレス議会の実践しています。

ペーパーレス化で経費削減や資料のデータペーパース化だけでなく、町民に対しても分かり易い説明ができ、開かれた議会、わかりやすい議会に近づけることができます。

町長

多可町議会で

は議会運営の効率化に向け、タブレット端末導入を調査研究されていることは承知しています。タブレット導入となれば、議会だけではなく、

執行部側も同時に導入することになると思います。ペーパーレス、事務の効率化には、ソフトウェアやハードウェアの保守料などを含めた検討が必要と見えます。

議会運営の効率化と同時に、行政事務の効率化も判断し、大切な情報を守るためのセキュリティの強化、運用規則の



膨大な資料をタブレットへ

制定など、議会の協力を得ながら、導入に向け前向きに検討を進めます。

問 道路橋梁の維持管理はできるのか

日原 町の管理する道路は約51.9km、橋梁は108橋と膨大であり、進む老朽化や財政の制約など、日常の維持管理は大変難しいです。

全ての道路橋梁の維持管理には莫大な費用がかかります。人口減少が進むものは廃止も検討すべきです。

今後維持管理を進めるための新たな取り組みや、財源確保をどのように考えているのですか。

答 計画的・効率的な対策を進める

町長

道路は近接目視点検に基づく修繕を、橋梁は道路橋長寿命化修繕計画を策定し、限られた予算の中で計画的、効率的な対策を進めます。

路線の重要性や必要性、対策の緊急性から優先順位を付け、必要性の乏しいものは廃止も視野に入れて検討します。

また、必要な財源の確保を国や県に強く要望していきます。

新たな発想を求めて

平成30年11月5日～6日に広島県三次市とおおなみ南町へ視察研修に行きました。

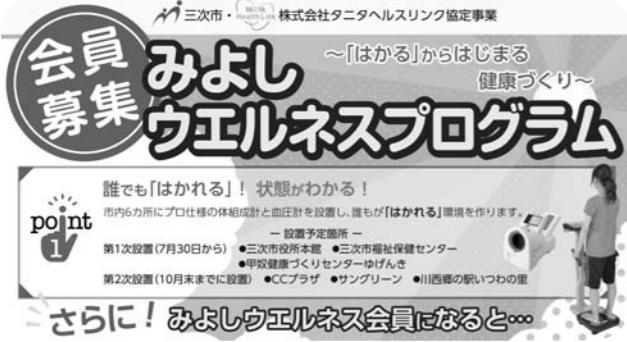
生活環境常任委員会(山口)

いきいき健康

日本一のまち

広島県三次市の「いきいき健康日本一のまち」の取り組みは、(株)タニタと協働で推進することで、生活習慣病予防や重症化予防を目指しています。

タニタの活動量計を使い歩数・体重・血圧などのデータをパソコンやスマホに送信して確認ができます。



スマホの活用で若い人達にも自分の健康状態への関心や意識を高めてもらうことを目的としています。

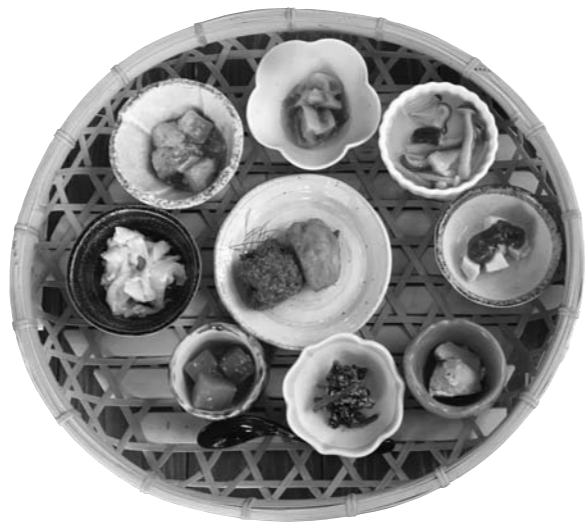
A級グルメによる

農業振興

島根県邑南町の「A級グルメ構想」は、特産の石見牛やハーブ、野菜など地元のいい食材を、一流シェフが調理する地産地消のレストランをつくることで、この町を訪れる人を増やすという構想です。

「生産者が一生懸命作った産物はA級品だ」A級とは高級ということではなく、ここでしか味わえない食や体験と位置づけています。

地元には良い食材がたくさんあるので、邑南町に来て食べてもらうことで、生産者の自信と誇りにつながっていききました。また、地域おこし協力



地元の食材が満載

隊の制度とA級グルメを上手にドッキングさせ、調理専門学校卒業生と協力して、実際の現場でシェフの修行と農業の研修が学べるシステムを作り上げていきました。

今回の視察では、健康や子育て支援、農業振興と交流人口増加策、地域産業の活性化など多くの学びがありました。今後、議会内での議論を重ねて政策提言につなげます。

次回3月定例会日程

平成31年3月1日～
3月26日の予定です。

請願の締切日は、
平成31年2月14日です。

学びの秋に

議会運営委員研修会 議員研究会



熱く語る金澤副知事

「すこやか多可町」で2030年を迎えられるよう、議論を重ね政策提案していきます。

自由の中に品位を

平成30年11月7日市川町文化センターで議会運営委員研修会・議員研究会が開催されました。

「議会の発言の観点から」というテーマで、(株)地方議会総合研究所の廣瀬和彦氏より、議会運営と委員会の役割を学びました。

議員は、発言の自由が保障されていますが、根拠が不明確なことなどは発言すべきでない、自由の中にも、守るべきことがあるのを具体的に示されました。

議会のICT化を推進

ICT推進特別委員会(日原)



平成30年10月15日に、タブレット端末を導入し、議会ICT化に取り組み始めている篠山市議会を訪れ研修を受けました。

導入の目的

- ① 効果的、効率的な議会運営
- ② 議員活動の充実(膨大な資料がデータベース化)
- ③ ペーパーレス化による環境負荷の低減
- ④ 議会費の削減

課題

- ① 各会議での活用展開
- ② 議員間のICTスキル格差の解消

現在は予算書、決算書以外は電子化されています。

多可町議会でもICT化を進め、議会運営の効率化、活性化、迅速化に努めていきたいと考えていますので、篠山市の取り組みは大変参考になりました。

ICT化の推進に向けて研究を重ねます。

高みを目指して

平成30年10月26日(金)に議会だよりのさらなる向上を目指して
つばたまち 石川県津幡町議会へ視察研修に行きました。

広報編集特別委員会(日原)



活発な議論ができました

つばた議会だよりは、議会広報誌全国コンクールで奨励賞をとるほど、議会広報には実績も実力もあります。

参考になった点は

- ① 発行日が定例会開催の翌月5日。発行まで約20日と非常に短期間で編集をしています。
- ② 表紙の題字は小学生が毎回書いています。
- ③ 写真にはこだわりがあり、担当を決めて毎回かなりの枚数を撮影するなど、非常に意識が高いです。

④ 議案の記事はQ&A(質疑)でなく、賛成・反対討論を掲載し、各議員がその議案に賛成または反対する理由を明確に示しています。

委員全員の意識が高く、スピード感をもって作成されていることが印象的でした。

つばた議会だよりの良いところを吸収し、多可町議会だよりも高い水準に押し上げていきます。

輝け多可町議会だより

兵庫ジャーナル賞受賞

平成30年11月7日、市川文化センターで、第39回議会広報誌コンクール表彰式がありました。多可町議会だより第49号がみごと特別・兵庫ジャーナル賞を受賞し、表彰していただきました。多可町議会だよりは、

これまで何度も受賞していますが、委員会が毎回努力や工夫を重ねて作り上げる広報誌、何度評価していただいても嬉しく励みになります。

一層分かりやすく親しみ、が湧く広報誌を目指してまいります。頑張ります。

